

大阪府本部第20回定期大会

安倍9条改憲を阻止！ 憲法を守り活かそう！ 労働組合の原則を貫き、強大な組織建設をめざそう！

建交労大阪府本部



大阪府本部第20回定期大会が9月16日（日）

10時～18時国労大阪会館で開催され、代議員40名、役員13名、特別役員2名、傍聴6名が出席。大会では、「安倍9条改憲を阻止！憲法を守り活かそう！労働組合の原則を貫き、強大な組織建設をめざそう！」をスローガンに、激動する情勢のもと、安倍内閣の暴走と国政の私物化、維新政治の暴挙、大企業横暴など正面から対決し、労働者・国民の暮らしやいのち、雇用や権利、平和・民主主義を守るための運動方針を確立することを確認した。

来賓には、大阪労連 菅義人議長、大阪交運共闘 庭和田 裕之事務局長、大阪建設共闘 矢野 治事務局長、日本共産党 清水 ただし前衆議院議員の方々です。執行部を代表して、久米執行委員長が「本大会の任務は、激動の情勢のもと1年間の運動を総括し、新年度の闘う運動方針とそれを推進する役員体制を選出することにある。大阪府本部は、大阪における建交労の運動と組織建設及び大阪労連の加盟単産として、大阪の労働組合運動に責任をもつ組織である。労働組合運動の原則を堅持し、他業種産別として、労働者の切実な要求と府民的要求の実現をめざそう。そのために対話と共同を基本に、すべての労働者を視野に3つの分



久米執行委員長のあいさつ

大会構成

	定数	出席	委任	欠席
役員	13	13	0	0
特別役員	2	2	0	0
代議員	41	40	1	0
傍聴		16		
合計	56	71	1	0

第20回定期大会において、久米執行委員長、佐藤副執行委員長、松澤書記次長、宇高執行委員、橋本執行委員、鷹巣執行委員、木南会計監査、藤田会計監査が退任されました。

執行委員長	前村 和弘	(関西ダンプ支部)	新
副執行委員長	阪口 昇治	(大阪合同支部)	新
書記長	山本 大樹	(関西支部)	新
書記次長	荻田 智学	(大阪合同支部)	新
執行委員	植西 茂	(関西合同支部)	新
	北山 浩	(此花支部)	新
	佐藤 仁志	(大阪鉄道本部)	新
	高橋 克利	(関西支部)	新
	藤川 拓	(関西支部)	新
会計監査	澤 卓也	(関西合同支部)	新
書記	菅原 孝二	(此花支部)	新
	宇高 知世		

第20回定期大会で選出された新役員

野（経済闘争、政治闘争、思想闘争）での闘いを職場・地域・業種から全組合員運動として、進めていくことである。本大会が活発な討論で実りある大会になるよう期待する」と挨拶をされました。議案採決は、すべての議案、賛成多数で可決され、佐藤副執行委員長のガンバロー三唱で閉会しました。



2018年9月24日（月祝）13時～16時30分茨木市福祉文化会館303号で「憲法をいかになくそう貧困と格差、変えよう職場と地域、つくろう平和な世界」をスローガンに、大阪労連北摂地区協議会第33回定期総会が開催されました。参加は48名、発言者は10名で建交労から山本副執行委員長が「組織の現状と組織強化について」を発言し、橋本幹事からは、署名の訴えをおこなっていました。

大阪労連・北摂地区協議会第33回定期総会



台風24号が迫り来る中、2018年9月30日（日）第43回定期大会が京都で開催されました。今回の大会は7月に合流した、福岡協議会（九州関西・ツバメ・福岡陽昇運輸・内田ライン・内田物流・高揚）の仲間も朝早くから京都にいられて始まりました。大会でのすべての議案が承認され、討論では、組織拡大・強化、職場での現状などの報告と安倍政権の国政の私物化、憲法改悪に反対する運動が重要であるなど、政治闘争においても活発な発言があり、新役員体制も確立されました。

関西合同支部第43回定期大会



2018年9月27日18時30分、高槻島本労連大会に参加の植西執行委員

事故に強い味方
自動車共済

- 1.等級別割引・割増の継承可能！
- 2.24時間フリーダイヤル事故受付！
- 3.割安な共済掛金・補償は充実！
- 4.組合員の立場で示談交渉！
- 5.車両共済・人身傷害共済
その他特約あり

必ずFAXで
見積りを！

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは
各共済会へ



大阪万博・カジノを含むリゾート（IR）候補地の脆弱性が露呈
台風は、9月4日の午後2時頃、「非常に強い」勢力で神戸市に再上陸するのは25年ぶりでした。大阪港は、1961年の第2室戸台風などで記録した過去最高潮位293センチを瞬間的に越え、329センチまで上昇し、その影響で関空は冠水し、タンカーが関空連絡橋に衝突するなどして、一時は利用客や職員ら5000人が孤立した。夢洲のコンテナターミナルがある候補地では、最大瞬間風速45メートル以上を観測し（関係者によると、約1000本の空コンテナが）

ダメージ（スクラップを含む）を受けました。コンテナヤードが再開するのに、数日かかり、コンテナ輸送を仕事とする労働者は、空コンテナの返却ができず、配送するコンテナも搬出できないまま混乱が2週間以上続いた。加えて東南海トラフ地震が起こった際の液状化現象や津波の危険性も指摘されている。夢洲を結ぶ道路は、舞洲からの浮き橋（夢舞大橋）と咲洲からの海底トンネル（夢咲トンネル）しかなく、津波で被害を受ければ孤立状態に陥るだけでなく、夢洲にいる作業員やドライバーなどの労働者や道路を通行している一般住民などが非難できる場所は一切なく、非常に危険な状態である。

沖縄知事選挙

9月30日投票がおこなわれ、翁長知事の意思を継ぐ、玉城デニー氏は前回の知事選挙の翁長知事の得票を上回り、相手候補に8万票の大差をつけ過去最多投票で歴史的な勝利をおさめました。玉城デニー候補の勝利は、首相官邸が主導し、国権力を総動員して沖縄県民の民意を押しつぶそうとした安倍政権に対する痛烈な審判となりました。また、この勝利は沖縄の未来と日本の民主主義にとっても重要な意義を持つものです。しかし、安倍政権は玉城氏勝利の結果を受けてもなお、辺野古新基地建設は粛々と行おうとしています。民主主義と地方自治は、民衆の闘争によってのみ実現化されうること、国家権力との闘争を通じて沖縄県民は実証した。それは、全国的に市民と野党の共闘の促進発展に寄与し、安倍政権の戦争する国づくり阻止と、その退陣へ大きく貢献した。沖縄のたたかいは、私たち自身の課題として、これからも追求しなければなりません。

